

# 高円宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ 2026 OSAKA

## 実施要項(案)

名 称 高円宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ 2026 OSAKA

主 催 (一社)大阪府サッカー協会

後 援 大阪府・大阪府教育委員会・大阪市・大阪市教育委員会

主 管 (一社)大阪府サッカー協会 2種委員会

協 賛 (株)モルテン (株)ミカサ (株)岸和田スポーツ

期 日 2026 年3月 20 日(金)～2026 年 12 月 20 日(日)  
・前期:4月4日(土)～6月 28 日(日) 3部/4部 3月 20 日(金)～5月 24 日(日)  
・後期:9月5日(土)～12 月6日(日) 3部/4部 5月 30 日(土)～10 月 25 日(日)

### 1. 参加資格

- ①(公財)日本サッカー協会に第2種登録した加盟チームまたは準加盟チームであること。
- ②(公財)日本サッカー協会に個人登録を完了している者であること。
- ③選手の年齢は、平成 19(2007)年4月2日以降に生まれた者とする。
- ④部員不足のチームは、本大会実行委員会の承認を得て合同チームでの参加を認める。ただし、4部リーグの所属とし、上位リーグへの昇格権は持たない。
- ⑤4部リーグに限り、前期又は後期のみの参加を認める。ただし、上位リーグへの昇格権は持たない。
- ⑥本大会実行委員会の承認を得て複数チームでの参加を認める。複数チームで参加する場合は、各チームそれぞれに異なった監督(顧問)を登録すること。なお、Bチーム(セカンドチーム)は、Aチーム(ファーストチーム)所属の直下のリーグまで参入できることとする。その他、複数チームの参加要件は内規に定める。
- ⑦(公財)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内のチーム間であれば移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は第3・4種年代のみとし、第2種およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
- ⑧参加申し込み時に3名以内の有資格審判員(最低1名主審ができること、ユース審判員は除く)を登録すること。複数チームで参加する場合は、各チームそれぞれに異なった有資格審判員を登録すること。登録審判員がいないチームは参加を認めない。
- ⑨試合に登録することができる外国籍選手は、1チーム3名以内とする。準加盟チームについては、その限りとしない。
- ⑩合同チームについては、半期毎に申込を行い、1チーム10名以下で、合同するチーム数と選手数の上限は設けないこととする。但し、上位リーグへの昇格権は持たない。

### 2. リーグ構成

- ①1部リーグ(10チーム)  
前年の成績により決定したチーム。
- ②2部リーグ(8チーム×3グループ)  
前年の成績により決定したチーム。グループ分けについては実行委員会において、前年の実績等に基づき A・B・C グループに振り分ける。
- ③3部リーグ(8チーム×6グループ)  
前年の成績により決定したチーム。グループ分けについては実行委員会において、前年の実績等に基づき A～F グループに振り分ける。
- ④4部リーグ(7～11チーム×4～5グループ)  
前期4ブロックによる1シーズン制・後期組み替え後(上位2地域・下位4ブロック)1シーズン制  
前年の成績およびチーム数を考慮し実行委員会がブロック分けを行う。グループ分けについては各ブロック・地域において、前年の実績・前期成績等に基づきグループ分けを行う。  
※上位2地域は豊能三島・北河内大阪市と中河内南河内・南大阪を組合せ2地域とする
- ⑤諸事情により、運営上支障をきたす場合は実行委員会で協議し、リーグ構成を変更する事がある。

### 3. 競技規則

- ①(公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則 2025/2026」による。
- ②各試合の登録選手は、JFA発行の選手証を試合会場に持参しなければならない。但し、写真貼付により、顔の認識が確認できるもの。

※選手証とは、JFAのWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。2026年度のJFA Web登録申請後にプリントアウトした「継続登録申請書」および「追加登録申請書」で出場を認める。

- ③選手の交代に関しては、試合開始前に登録した最大9名の交代要員の中から、6名までの交代が認められる。ただし1部、2部、3部においては試合中の交代回数は3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)また、ハーフタイムでの選手交代は、交代回数に含まれないが飲水タイムや **Cooling Break** 時の交代は回数に含まれる。
- ④脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。
  - (1)脳振盪またはその疑いのある選手の交代(以下「脳振盪交代」という)は、通常交代に含まれない。
  - (2)脳振盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行われなければならない。
  - (3)脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
  - (4)脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1名1回の交代を追加で得ることができる(以下、本号に基づく交代を「追加交代」という)。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
  - (5)1試合における各チームの脳振盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする。
- ⑤本大会において退場を命じられた選手等は、同一リーグの公式試合1試合を出場停止とし、それ以降の処置については、本大会の規律委員会で決定する。
- ⑥本大会において3回の累積警告を受けた選手等は、本大会の次の1試合を出場停止とする。
- ⑦累積警告による出場停止処分を繰り返した場合は、本大会の次の2試合を出場停止とする。
- ⑧複数チーム参加の下位チームは選手証と共にブロック選手リストを必ず提出すること。

#### 4. 競技方法

- ①1部から3部は2回戦総当たり(前後期制)のリーグ戦方式とする。
- ②1回戦総当たりが開催できた場合、リーグ成立とし、リーグごとに個別に判定するものとする。また、成立しなかった場合、終了した試合の公式記録は有効とし、退場による未消化の出場停止処分は懲罰規程に則り、消化されなければならない。
- ③(1)リーグ戦における順位決定方法は、勝3点、引き分け1点、負0点の勝ち点により、勝ち点の合計が多い順に決定する。また、リーグ自体が途中で開催不可能になった場合で、全チームの試合数が同数の場合、実行委員会の判断の下、勝点で順位を決定する場合がある。なお、勝点の合計が同一の場合は次の順に決定する。
  - 1) 全試合の得失点差 2) 全試合の総得点の多少 3) 当該チーム同士の対戦結果 4) 抽選(2)不成立試合があり、全チームの試合数が異なる場合は、実行委員会の判断の下、勝点平均(総勝点÷試合数)で決定する場合がある。なお、勝点平均が同一の場合は次の順に決定する。
  - 1) 当該チーム同士の対戦結果 2) 1試合あたりの得点数 3) 1試合あたりの失点数 4) 抽選
- ④4部は前期1回戦総当たりを行い、その結果で後期に各ブロックから上位 24 チームが**2地域に分かれ**、下位チームは各ブロックにて2~3グループに分ける。前期の成立に関しては、ブロックによって期日(予備を含む)を設け、その期日までに実施できなかった場合は、勝点平均にて、上位地域リーグへの進出チームを決定する。
- ⑤4部に2チーム以上参加のチームは、昇格権をもつ1チームのみ上位地域リーグへの進出を可能とする。
- ⑥試合時間は1部・2部は90分、3部は80分、4部については前期70分、後期上位地域リーグ80分、下位ブロックリーグは70分とする。
- ⑦棄権チームが出た場合は、当該試合を3-0とし、相手チームに勝利を与える。また試合の前日正午までに、グループ代表者、会場責任者、相手チーム、審判の4者に連絡することなく、無断で試合を棄権したチームは、嚴重なる警告を受けるとともに、今後の公式戦に出場停止の処分を受けることがある。
- ⑧新規加入・再加入のチームは4部リーグに所属する。
- ⑨前期のみ参加チームの対戦結果は、順位に反映する。(上位地域リーグ進出の場合、チームを繰り上げる。)
- ⑩後期のみ参加チームは後期下位ブロックリーグに所属し順位に反映する。
- ⑪(1)WBGT数値が条件に達した場合は、「熱中症対策ガイドライン」に基づき、飲水タイムまたはCooling Break のどちらか一方もしくは状況に応じてその両方を実施する。  
(2)飲水ボトルの共用を避けるため、Myボトルや飲み切りボトル等をピッチ周辺に置く等、感染対策を講じる。

#### 5. 昇降格について

- ①高円宮杯 JFA U-18 サッカープリンスリーグ関西からの降格チームは、1部リーグに所属する。
- ②1部リーグの上位2チームには、「高円宮杯 JFA U-18 サッカープリンスリーグ 2026 関西」プレーオフに出

場する権利が与えられる。(上位チームが出場する権利を有しない場合は順位を繰り上げることとする)

- ③1部の8位・9位・10位チームは、2部に自動降格とする。
  - ④2部の1位チームは1部に自動昇格する。(1位チームが昇格権利を有しない場合、同グループの2位チームを繰り上げ自動昇格とする。2位チームまでが1部への昇格権利を有するものとする。)
  - ⑤2部の7位・8位チームは、3部に自動降格とする。
  - ⑥3部の1位チームは2部に自動昇格する。(1位チームが昇格権利を有しない場合、同グループの2位チームを繰り上げ自動昇格とする。2位チームまでが2部への昇格権利を有するものとする。)
  - ⑦3部の7位・8位チームは、4部に自動降格とする。
  - ⑧4部各地域の1位の6チーム(合計 12 チーム)が3部に自動昇格する。(1位チームが昇格権利を有しない場合、同グループの2位チームを繰り上げ自動昇格とする。2位チームまでが3部への昇格権利を有するものとする。)
  - ⑨プレミアリーグおよびプリンスリーグとの昇降格により、1部リーグ所属権利を持つチーム数の変動が生じた場合は、1部・2部間、2部・3部間および3部4部間で降格チーム数を調整することとする。
- ※各リーグにおいて、2位チームが繰り上げ自動昇格になった場合、3位チームを繰り上げ2位扱いとはしない
- ※2部、3部、4部リーグにおいて各グループの上位2チームが昇格権利を有しない場合は、他のグループの勝点の多いチームを昇格チームとする。(勝点と同じ場合は、順位決定方法の手順に準ずることとする。)
- ※4部の各地域からの昇格は6チームとし、昇格する6チームが決定できない場合、他の地域から補充することとはしない。

## 6. ユニフォーム

- ①正副2着を必ず携行すること。(シャツ、ショーツ、ソックスそれぞれ正と副とが明瞭に区別できるものとする。)
- ②チームのユニフォーム(ゴールキーパーのユニフォームを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- ③キャプテンアームバンドについては、本協会によって用意または認められたアームバンドのみ着用が認められ、本協会によって認められたアームバンドを着用する場合は本協会ユニフォーム規程に準拠すること。

## 7. 表彰

- ①下記の成績のチームは、(一社)大阪府サッカー協会から表彰を受ける。
  - (1)1部リーグの優勝・準優勝チーム 表彰状・カップ
  - (2)2部リーグの優勝チーム 表彰状
  - (3)3部リーグの優勝チーム 表彰状
  - (4)4部リーグの上位地域優勝チーム 表彰状
  - (5)4部リーグの下位ブロック優勝チーム 表彰状

## 8. 審判

- ①主審は、審判報告書を作成のうえ、警告・退場があった場合は、試合終了後に当該チームの監督(顧問)に確認すること。
- ②副審は、主審の所属チームから2名出すことが望ましいが、対戦チームから1名ずつ出してもよい。
- ③(一社)大阪府サッカー協会派遣のユース審判を割り当てることがある。

## 9. その他

- ①会場責任者は、試合終了後速やかに試合結果報告書をリーググループ代表者にFAXもしくはメール送信すると共に、携帯電話からの試合結果速報システムに入力を行うこと。
  - ②大会運営について問題が生じた場合は、本大会実行委員会で審議し最終決定する。
  - ③競技中の事故については、すべて当該チームが責任を負うものとする。
  - ④参加チームは、各チームにおいて傷害保険に入ることが望ましい。
  - ⑤暑熱下の試合においては、審判と会場責任者の判断で、熱中症予防のための Cooling Break または飲水タイムをとることがある。
  - ⑥不可抗力による試合の中断および中止の判断は、主審・会場責任者・当該チームの監督(顧問)で協議し決定する。試合が中断された場合は、中断時点から試合を再開することを原則とするが、本大会実行委員会の判断で再試合や中断時点で試合を成立させることもある。なお、中断時点で後半30分(3部4部は25分)を経過していれば、試合成立とする。
  - ⑦新規加入希望チーム(再加入を含む)は、原則として申込期日までに実行委員会に連絡すること。
  - ⑧本大会実施要項に記載されていない事項については、本大会実行委員会にて協議の上、決定する。
  - ⑨チーム・選手の衛生・健康管理上の理由でチームが編成できない場合の延期は不可抗力として認めず、帰責事由のあるチームの敗戦とする。
- 例: 感染蔓延による学校部活動停止、ノロウイルス蔓延による寮閉鎖によるクラブ活動停止、怪我人多数でのメンバー不足など